

# 兵庫県保険医協会・国際部オンラインセミナーのご案内 医療関係者のための「やさしい日本語」**実地**研修会

難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語である「やさしい日本語」は、日本に在留する外国人とのコミュニケーションに役立つツールとして、注目されています。これは高齢者、障がいのある方など、医療機関にかかる様々な方にも用いることができます。

「やさしい日本語」を実際の医療現場でどのように使うのか、国際部ではオンラインセミナーを企画しました。患者役の外国人の方を相手に、診療の現場を想定したロールプレイを行います。皆さまのご参加をお待ちしております。



日時 7月10日(日) 14時~16時30分

会場 オンライン&兵庫県保険医協会会議室

対象・定員 医師・歯科医師20人(来場・オンライン合計・先着順)

外国人の方と実際に  
ロールプレイで研修!

**プログラム** 「やさしい日本語」についてのミニレクチャーの後、小グループに分かれて、実際に一般的な日本語を「やさしい日本語」に変換する練習問題を行います。そして、日本語を母語としない方に模擬患者になっていただき、医師・歯科医師として診療現場のロールプレイを体験します。

※オンラインでの参加はZoomミーティングを用いて行います。マイクとカメラで参加者の顔が映り、声が聞こえることが必要ですので、各自でご準備をお願いいたします。

## 来場参加お申し込み【FAX078-393-1820】

切り取らずに必要事項をご記入の上ご返信ください

地区		医療機関名	
参加人数	人	代表者名	

## オンライン(ZOOM利用)による参加お申し込み

右のQRコードもしくは下のアドレスから前日までに登録をお願いします。  
登録確認メールが届きます。

<https://bit.ly/3wDzbH4>



\*登録がうまくいかない、設備等不明な点がある等お問い合わせは、協会事務局 Tel. 078-393-1807、または konishi-s@doc-net.or.jp (担当:小西)までご連絡ください。

# 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

356号

2022年6月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

支部研究会 感想文

## 開業医が最前線で コロナに立ち向かう



講師を務めた長尾和宏先生(左)と講演を熱心に聞く参加者

神戸支部は5月26日に協会会議室で研究会「コロナ禍における開業医の役割～コロナ後遺症とワクチン症候群の病態にもふれて～」をテーマに開催した。尼崎市・長尾クリニック院長の長尾和宏先生が講演し24人が参加した。岩本善嵩先生の感想文を紹介する。

(2面に続く)

(1面の続き)

先日「コロナ禍における開業医の役割」というテーマで講演を拝聴させて頂きました。長尾先生とはコロナ禍でもあり長らくお会いできておらず、クリニックの窓を割られたり誹謗中傷を受けておられるという話を伝え聞いてひそかに心配しておりましたが、ますますバイタリティーに溢れており、意気軒昂に話をされている様子を拝見して全くの杞憂と分かりました。

講演の内容はコロナ禍において開業医の果たすべき役割、ワクチン後遺症、イベルメクチンについてなど多岐にわたりました。コロナ感染もワクチン後遺症も早期発見、早期治療が良好な治療成績につながるの、病院任せにせず地域の開業医が最前線に立ってコロナに立ち向かう姿勢が大事とのことでした。

当院ではコロナワクチン後遺症の症例を実際に診察したことはありませんが、長尾クリニックには、診察を断られたり診断のつかなかった方々が、全国各地から受診に来られるとのことで、まさに最後の砦になっておられるようでした。

イベルメクチンに関しては、発見者の大村先生とも会談を重ねられているようですが、大村先生もイベルメクチンに無限の可能性を感じておられ、まだまだ研究を深めておられるようです。さらなる知見の集積が楽しみです。

長尾先生は信念を貫く過程で、ワクチン賛成派も反対派からも非難される立場のようですが、目の前で困っている人を助けたいというシンプルな気持ちで動かれていることが伝わりました。私自身はワクチン接種に関しては十分な勉強もできておらず思考停止に陥っていることを反省する機会となりました。長尾先生が、今後も最前線でお元気に活躍されて、私たちを導いてくださることを願っております。

【中央区 岩本 善嵩】

## 健康情報テレホンサービス

☎ 0120-979-451

### <2022年7月のテーマ>

- 月曜日 月経困難症
- 火曜日 変形性膝関節症
- 水曜日 コロナ後遺症
- 木曜日 包皮灸
- 金土日 不安神経症

※ 18日(月・祝)は金土日のテーマを放送します。

開業医の  
手作りの健康・  
医療情報



## 健康と医療について語り合う会 感想文

# ストレスとの付き合い方を学ぶ



講師の小林先生(上)と講演に熱心に聞き入る聴覚障害者ら参加者達(左)

神戸支部は3月24日、神戸市総合福祉センターで健康と医療について語り合う会を開催した。

これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的で開催する「聴覚障害者の医療を考える会(いのちを考える会)」の講師派遣の要請に応え、神戸支部が運営に協力しているもの。今回は、「働き出した人のメンタルヘルスー正面切って考えてみるー」を開催。精療クリニック小林の小林和先生を講師とし、30人(うち聴覚障害者15人)が参加した。当日参加された方の感想を紹介する。

私も職場では、仕事や人間関係に、日々小さなストレスを感じていますが、年経るタヌキはそれなりに、ガス抜きもできていると思っています。

今回の講演を聞いていて、そんな自分のことではなく、若い同僚のことが頭に浮かびました。ストレスと上手く付き合えず、溜め込む様子の彼女を、デリケートな問題だからと、今までは見守っているつもりでしたが、この講演で、第三者の目・第三者からの声かけが大切なんじゃない?って気付きました。

あまり婉曲な話は得意ではないので、直球で話しかけてみたら、思った以上の反応に、声をかけて良かったと思いました。

彼女の抱えているストレスが簡単に解消できるとは思いませんが、話を聞いてくれる人が居ると思うことで、ストレスとの付き合い方が少し変わってくれたら良いなと思いました。私も、母娘ほど年の離れた彼女と仕事以外の話をするすることで、職場での楽しみが1つ増えました。翻って、私自身のストレス発散の1つになったのかな?と感じました。

【Y.M】